

題材名「伝わりやすい発表の仕方を考えよう」

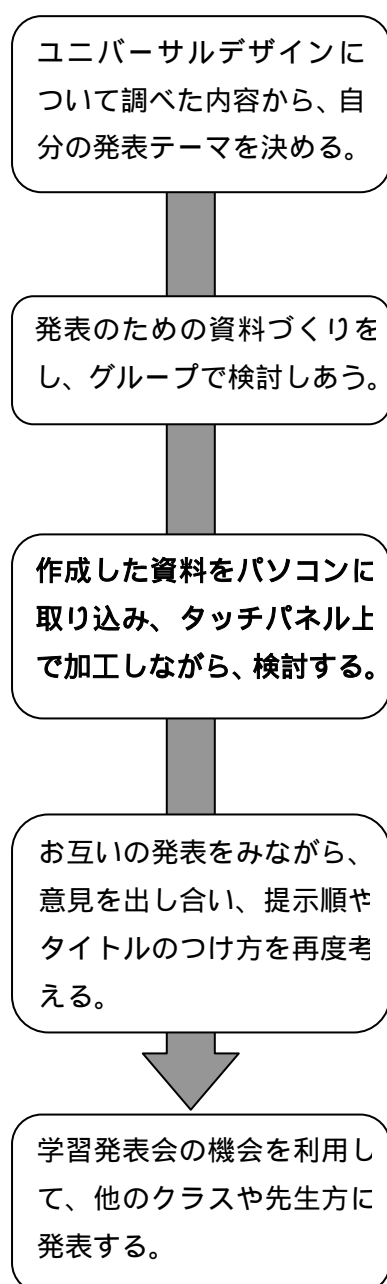
目 標

- ・目的に応じて情報を加工し、整理して伝えることができるようにする。
- ・相手に伝わりやすいように、提示の順序やタイトルのつけ方などを工夫したプレゼンテーションができるようにする。

コンピュータを活用する利点

タッチパネル式の電子黒板を使用することにより、全員に画面が見える状態で資料の提示順等を変更することができ、お互いの意見も交流しやすくなる。また、作成した資料を取り込んで貼り付けたり、その一部を画面上で操作しながら加工したりすることも容易になり、様々な案を検討することができる。

授業の流れ



ICT 活用場面

タッチパネル式の電子黒板（SMART Board）を活用した。

まず、ユニバーサルデザインについて、国語の教科書の教材で学んだ。次に校内の施設を調べ、インターネットでも様々なユニバーサルデザインの様子を検索した。さらに市の施設に出かけて実際に取材し、ユニバーサルデザインについて自分たちの提案を考えた。提案をもとに資料を作成し、それをデジタル化してパソコンに取り込んだ。



発表にあたって、教室に設置したタッチパネル上で、その資料を操作しながら練習し、発表の方法を検討しあう場面を取り入れた。その場で資料を切り取って別のところへ移動したり、一部を消去したりする作業が指先ででき、様々な意見を交換しながらの資料加工ができた。

成果と課題

タッチパネルと、その付属ソフトウェアである SMART Notebook を活用してのプレゼンテーションは、伝わりやすい発表の仕方を考える上で有効だった。しかし、ソフトの操作方法にもっと児童が習熟していれば、よりスムーズな学習活動が展開できたと考えられる。学年に応じた機器活用スキルの指導が今後の課題である。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	SMART Board
使用ソフト名	SMART Notebook
使用教室	普通教室